



2021-2022 Shari Rotary Club Bulletin

- 会長：野尻 勝規 ● 副会長：元木 誠二 ● 幹事：鈴木 市郎
- 創立：1963年10月5日 ● 例会日時：毎週水曜日 12:00～13:00
- 事務所：〒099-4112 斜里郡斜里町港町1 ● 例会場：ホテルグランティア知床斜里駅前
TEL(0152)26-7978 FAX(0152)26-7980 〒099-4112 斜里郡斜里町港町 16-10
TEL(0152)22-1700
- 斜里 RC 事務局メールアドレス Sharirotaary@peach.plala.or.jp

第 2850 回例会 2022 年 2 月 2 日(水)

発行：会報・広報・雑誌委員会

点鐘：野尻 勝規 会長

司会：浦田 順子 SAA

1. ゲストおよびビジター紹介 ～野尻会長

- ・斜里高校「地域みらい留学 365」留学生 鬼塚 明樹君
- 〃 佐々木 董さん
- ・斜里高校魅力化コーディネーター 山本 珠代さん

2. ローターソング ～国歌斉唱、奉仕の理想(唱和なし)

3. 会長の時間 ～野尻会長

・皆さん、こんにちは。

2月はロータリー特別月間「平和と紛争予防」月間です。終戦から75年以上が経過しまして、戦争を経験していない私たちの日常において、「戦争」といった話題はあまり上がらないテーマかもしれません。

ちょうど一年前のロータリーの友(2021年2月号)に、長崎で被爆した体験を語られたロータリアンの記事がありましたので紹介させていただきます。

元長崎記念病院の理事長でありました福井順(ふくいすなお)さんと言う方で、長崎南 RC の会員で、2001-02年度の長崎県・佐賀県地区のガバナーもされていた方だそうで、2008年にご逝去されております。

《以下、原文です》

1945年8月9日、長崎市の爆心地より700mの近距離で、私は被爆しました。長崎医科大学に通う19歳の医学生でした。その日、私は大学附属病院の南講堂にいました。当時出席していた同級生は約130人。そのうち生存者は私を含めてわずか4人でした。

その運命の日の午前10時、南講堂での講義が終わり、私は25人ほどの友人と講堂内に残り、他の同級生たちはすべて別棟の教室に移動しました。運命を分けた選択でした。

私は南講堂の最後部に近い椅子に座っていました。ちょうどその時、航空機らしい爆音が聴こえてきました。誰かが「B29のようだな」とつぶやきました。講堂の西側にいたK君(即死)が「どれ、一つ見てやるか」と窓を開け、上空を見て「おや？落下傘だ」と言いました。私はそれを聞いて「広島に投下された新型爆弾だ」と直感しました。私は夢中で鉄かぶとをかぶって、階段教室を教壇の方に矢のように走って下りました。途中、「シャー」というような鋭い音を聞き、教壇

の下の板張りの床に身を伏せました。

原子爆弾のことを「ピカドン」と言いますが、後から考えても、ぴかっと光ったことも、爆風の衝撃も思い出せませんでした。ただ、目と耳を押さえて伏せようとしたことだけは記憶にあります。ものすごいショックによる、一時的な記憶喪失だと思います。

意識が戻った時、真っ暗の世界でした。もううたる土煙、身体の下は散乱した木材と木片、周囲は狭い四角の分厚いコンクリートの壁でした。天井からは絶え間なくコンクリートの破片が降ってきます。

「ここはどこなんだ」夢中でもがき、立ち上がった私は、急いで出口を探しましたが、暗闇と土煙で方向が全く分からず、しばらく動くことが出来ませんでした。

ようやく外に出ることが出来ましたが、口の中は泥や砂だらけで、吐こうにも唾液も出ません。出口付近にむき出しの水道管を見つけ、口をすすごうとしました。しかし、手にかけたカランが火のように熱く、熱湯が蛇口から出たのに驚いて、高い丘に向かって逃げ出しました。

周囲は薄暗く、道の傍らに行き倒れた人、瀕死の人、負傷した人があり、血と泥にまみれて亡霊のようにうごめいていました。



坂道をさらに登って病院を見下ろせるところまで来た時、初めて周囲を見ました。あの夏の緑に覆われた病院の丘は一変し、この世の者とは思えない光景になっていました。

・・・この後、重油のようないわゆる「黒い雨」を浴びて、放射能による原爆症状に苦しむ様子を非常にリアルに綴られております。時間の関係上、すべてを紹介は出来ませんが、戦争の悲惨さを体験された貴重な証言が残されております。

戦争や被爆地での経験を語れる人も年々高齢化により少なくなっています。私たち戦争を知らない世代は、日々平和な日常を過ごしておりますが、世界に目を向ければ、今もどこかで紛争や争いごとで命を落としている人たちがいることも事実です。

ロータリー特別月間の2月は、皆さんも自分事として戦争について考えてみては如何でしょうか？

4. 幹事報告 ～森田副幹事

- ・斜里町スポーツ協会より昨年末の当クラブからの協賛金に対する礼状が届いています。
- ・今月のロータリーレート～1ドル:115円

5. 委員会、その他の報告 ～なし

6. 本日のプログラム ～野尻会長

◆ゲスト卓話

●今井奉仕プロジェクト委員長～本日のゲストを紹介させていただきます。

・佐々木 董さん:17歳 高校2年生 愛知県名古屋経済大学高蔵高等学校から斜里高校へ留学

斜里高校に留学した理由は、中学生の時、北海道に修学旅行に来て知床のすばらしさに感動して、もう一度訪れたいと思ったのがきっかけだそうです。

・鬼塚 明樹さん:17歳 高校2年生 宮崎県五ヶ瀬中等教育学校から斜里高校へ留学
普段と違った環境を体験したいということで、どうせ行くなら一番遠いところが良いと思い斜里高校へ留学したそうです。

・山本 珠代さん:斜里高校魅力化コーディネーターとして「地域みらい留学 365」の対応と地域との連携によるより良い高校づくりのお手伝いをいただいています。

今日は、留学生として来た高校生の目から見た斜里の印象を語っていただきます。

●鬼塚 明樹さん

先ほど、ご紹介があったように、僕は「環境を変える」ためにやって来ました。それは環境を変え、そして計画的に僕の中で過去の蓄積を大きくして行こう、そして机の上だけで終わらせずに実際に自分の足や手、それに目や口を使って自分の過去を広げて行こう、そして未来に役立って行こう、そういう想いがあり、僕は斜里町にやって来ました。斜里町に来て学んだことが二つありました。

1つは自分のポジティブな気持ちを意思表示するということ、二つ目は生活基盤の大切さです。(以下略)

●佐々木 董さん

私が斜里町を選んだ理由として、先ほどもご紹介がありましたが中学校の修学旅行でウトロの方に行ったという理由もあったのですが、もう一つの理由として、私はたくさんの人と関わってたくさんの経験をするのが大事だと思い知床がある斜里町に来ました。

私は、斜里町の魅力は大きく分けて三つあると思います。

一つ目は自然、二つ目は人、三つ目が活動になります。

街の中に野良猫のようにキツネがいたり、空を飛んでいる鳥がカラスかと思ったらオジロワシやオオワシだったり、私の住む名古屋ではこんな経験は出来ないのととても魅力的でした。(以下略)



<前号からのつづき>

高木地区職業奉仕委員長 「職業奉仕月間」に因んで

4) 2 回目の会合

1905. 3.9 ポールの事務所、印刷業 ハリー・ラグレス(後の親睦派の総大将)、不動産業 ウィリアム・ジェンセン、楽器製造業 アルバート・ホワイト 他出席者 7 名

決定事項

- 1) 会合は会員の事務所を持ち回りとする。

5) 3 回目の会合

出席者 9 名

決議事項

- 1) 初代会長 石炭商 シルベスター・シール
- 2) 名称
- 3) 会員身分、役職 1 年
- 4) 入会するには全員一致の賛同が必要
- 5) 理事会の発足

6) 職業分類～1

アーサー・F・シェルドン 1908.6.28 入会

このころ、親睦一辺倒だったロータリーに、カーターとシェルドンは、利己的な組織は永続性が無い、という社会奉仕概念が芽生えた。

シェルドンは、利己と利他の調和、すなわち「奉仕」を職業の違う会員の心に異なった職業的発想の交換が出来るだろうと職業分類表の作成がなされた。

ロータリーの一業種一会員制のなかには質を保証する考え方が潜んでいることを思想の世界で論証し、ロータリーのロータリーたる所以は、一業種一会員制の中にある。

7) 職業分類～2

また、タイ国 ビチャイ・ラタクル氏は、ロータリーの独自性(他の団体との違い)とは、職業分類の原則。

基本的特質であり、社会生活上常に求められる倫理規範は、身を以って遵奉する会員組織が細分化された事業及び専門職務という職業分類で成り立っている。

8) 職業分類の歴史

1905 年 2 月 23 日 木曜日 第 1 回の会合で一業種一人制

1989 年 男性のみから女性の入会を認める

2001 年 一業種 5 名以内、会員 51 名以上 10%までに変更

2013 年 仕事の無い人、主婦、主夫(専業)も入会可能に

2019 年 職業分類の人数制限撤廃。新しくクラブ結成には職業分類は不要

… これで、基本原理が、ついに取り払われた … (次号へつづく)

7. ニコニコ B O X ～吉岡親睦副委員長

・本人誕生祝～木村、元木、森田各会員

8. 出席報告 ～武藤出席・プログラム委員長

◎本日出席～32 名中 23 名出席(出席率:71.8%)

☆ 幹事より次回例会の案内

・次回は 2/9(水)第 2851 回例会(産業会館 2F リモート併用)～ゲスト卓話 久保 耕一郎氏



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 国際ロータリーのテーマ

奉仕しよう
みんなの人生を豊かにするために

斜里 RC 会長のテーマ

ロータリーを知り、その魅力を伝え、
奉仕の輪を広げよう

